

篠原幸雄からやましたゆきおへ

マンガと生きた50年

27

わんコミのマンガ家たち



ネット配信版・新つれづれ草に掲載の「マンガと生きた50年」は、東京都江東区・森下文化センターにて2017年10月20日（金）から29日（日）の会期で開催しました、新つれづれ草マンガ展「篠原幸雄からやましたゆきおへ マンガと生きた50年」で展示した展示物を再構成したものです。

おやじマンガ同人誌

つ新つれづれ草

マンガ展

篠原幸雄からやましたゆきおへ

マンガと生きた50年



おやじマンガ同人誌「新つれづれ草」の山下幸雄は
1970年少年ジャンプから篠原幸雄としてマンガ家デビュー
その後、マンガ家、デザイナー、編集者としての立場を変えながら
マンガとの関わりを持ち続けて生きてきた
そして今再び、やましたゆきおとしてマンガを描き始めた！

入場：無料

イースト・銀座中街
(若狭少年ジャンプビル隣接、向い側の大五)

日時：10月20日（金）～10月29日（日）
午前9時より午後9時まで（最終日は午後5時まで）

会場：森下文化センター1F展示ロビー

お問合せ：森下文化センター
〒135-0004 東京都江東区森下3-12-17
TEL03-5600-8666 FAX03-5600-8677
都営地下鉄新富線・大江戸線「森下」駅A6出口より徒歩8分
都営大江戸線・東武メトロ半蔵門線「清澄白河」駅A2出口より徒歩8分
<http://www.kcf.or.jp/>

主催・新つれづれ草 共催・森下文化センター





27、わんコロムのマンガ家たち

新しい児童マンガ雑誌をめざす

小学生以下を対象にするマンガ雑誌を作る。

児童マンガは小学館の「コロコロ」と講談社の「ボンボン」の巨大と言っている。この二大雑誌が君臨していました。

新しく児童マンガの雑誌を出すと言っていることは、この二大雑誌に戦いを挑むことになります。

子どもの娯楽は、マンガからアニメにそしてゲームに移って来ていました。私はゲームの世界やキャラクターをマンガとして子どもに提供することが出来れば、必ず子どもの心に響くと確信しています。

した。そしてコロコロもボンボンもまたゲームマンガを本格的に取り入れていませんでした。

この二大児童マンガ誌に勝てるチャンスはあると思いました。

マンガ家さんのこと

本当にたくさんのマンガ家さんに、わんコロムは支えられて発行することが出来ていました。

ここでマンガ家さんを紹介するには、助けられたマンガ家さんについて、全て書かなければいけないのですが、あまりに書くことが多くて、書

き切れないので申し訳ないのですが、私の脳裏に
 浮かんでくるまま、主立った方を紹介することに
 とどめさせていただく事を許してください。

わんコミで描いていただいたマンガ家さんは、
 私と同世代か一世代若い方でした。



「わんぱくコミック」(徳間書店発行)



「わんぱくコミック」(徳間書店発行)

かたおか徹治さん

マンガ雑誌を作るには「柱になるマンガを作る必要があります」その雑誌の先頭に立って読者の人気ナンバーワンになって、文字通りその雑誌の大黒柱になるマンガです。

マンガの内容は決まっていました。ゲーム好きでゲームが超上手い少年がゲーム大会で勝ち抜いていき、たくさんのライバルを打ち破って成長していくお話です。

今では「eゲーム大会」と言われ、プログラマーは多額の賞金を得たり、オリンピック種目になるのでは、などと言われていますが、あの頃のゲーム大会はまだ子どもの遊びの世界でした。

私は今の様な「eゲーム大会」をマンガでやりたかったのです。

頼むマンガ家も私の中では決まっていました。

10代のころマンガ少年が集まって作った「肉筆マンガ同人誌つれづれ草」のメンバーだった「かたおか徹治」さんです。彼はマンガ家としてデビューして、小学館のコロコロで「ウルトラ兄弟物語」を描いていました。

私は彼の絵のうまさに魅了され、わんコミの柱は絶対にかたおか徹治さんに描いてもらうと決めていました。

全300ページ程の雑誌の巻頭100ページを使って、まさにわんコミの運命を賭けた作品でした。

かたおか徹治さんは、その重責をみごとに果たしてくれました。それが「ファミ魂ウルフ」です。

その後もかたおか徹治さんは毎号100ページ近くを描き続けてくれました。それは大変な負担だったと思います。



「ファミ魂ウルフ」かたおか徹治・著（徳間書店発行）



電子書籍版「ファミ魂ウルフ」かたおか徹治・著（徳間書店発行）

しごと大介さん

徳間書店の「なぞなぞ1111問」で大量のなぞなぞの問題とマンガカットを描いていただいたのが始めたったと思います。

ストーリーマンガもギャグマンガも器用に描き分けてくれて、パワーみなぎる作風で、わんコミを代表するマンガ家でした。

しごと大介さんには、わんコミ創刊から「ラジコンチャレンジャー」というストーリーリーマンガを連載していただき、わんコミが定期刊行物になると、ギャグマンガの「ファミコン突撃隊」の連載を担当して、毎号2本の連載マンガを描いていたきました。

「ファミコン突撃隊」は、わんコミ編集部メンバーの似顔絵をキャラクター化した、楽屋落ち風のギャグマンガで、個性あふれるおもしろキャラクターの編集部に、文字通り突撃して来る「ファミコン突撃隊」は読者代表の子どもたちで、毎回これらのキャラクター達が暴れ回るドタバタギャグマンガでした。

読者の人気は爆発的で、実際に読者から「ファミコン突撃隊」に入隊申込をしてもらい、会員登録とファミ魂ウルフがマンガの中で締めている黄色に命の文字の入った「命はちまき」を送って、会員組織を作りました。

「命はちまき」を締めてゲームをすると名人になれる！とのうたい文句でしたが、実際に「命はちまき」を締めて勉強をしたら成績が上がったという話があったとか。

かたおか徹治さんの「ファミ魂ウルフ」がわん
 コミの表の柱だとしたら、裏の柱が、しごと大介
 さんの描いた「ファミコン突撃隊」でした。

わんぱくコミックファンクラブの「ファミコ
 ン突撃隊」をもっと活用して、読者大会やゲーム

大会をやりたかったのですが、徳間書店にもワー
 クハウスにもイベントを行うノウハウが無かった
 ため、大々的には実現できませんでした。



「ファミコン突撃隊」しごと大介・著（徳間書店発行）



電子書籍版「ファミコン突撃隊」しごと大介・著（徳間書店発行）

乱丸さん

もう一度お会いしたくて、手を尽くして探しましたが、見つけることが出来ませんでした。乱丸さん、今どこでどうしているのでしょうか。

乱丸さんとは、わんこミで描いていただいていた

る他のマンガ家の方からの紹介がきっかけで執筆をお願いすることになったと記憶しています。

ファミコンディスクシステムの発売と同時にリリースされた「ゼルダの伝説」をマンガ化していただきました。

乱丸さんのシンプルな線と優しいキャラクター



「ゼルダの伝説」乱丸・著（徳間書店発行）



「リンクの冒険」乱丸・著（徳間書店発行）

とマンガの世界観で展開される、ゲームとは違う血の通ったリンクの活躍がわんコミの読者に受け入れられ、すぐに人気作品になり、わんコミを支える看板作品になりました。

沢田ユキオさん

沢田ユキオさんは、私が10代の頃やっていた「肉筆回覧同人誌つれづれ草」と同じ頃に関西の「作画グループ」というのマンガ同人グループに参加されていたので、その時期にどこかで接点があったのでは無いかと想像しています。

わんコミに参加して頂いたきっかけは、ワークハウスが徳間書店から最初に編集を請け負った単行本「なぞなぞ1111問」の表紙を沢田ユキオさんが担当されていて、その関係からわんコミに

も参加をお願いしました。

ファミコンディスクシステムの「スーパーマリオブラザーズ2」の発売に合わせて、沢田ユキオさんには同名のギャグマンガを連載していただきました。

もともとゲームでのスーパーマリオの人気はすごかったのですが、沢田ユキオさんの描いたマリオがマンガの中で走り回る姿は、子どもたちの喝采をあげ、その後「沢田マリオ」と称される様になりました。

この2つのマンガが、単なるゲームのマンガ化ではなく、マンガのキャラクターとして新たな魅力を持った作品になったことで、子どもたちの大きな支持を得ることができたのだと思います。

ファミ魂ウルフ、ファミコン突撃隊、ゼルダの伝説、スーパーマリオの四つの連載マンガを生むことが出来たので、わんこミは子どもたちの心をつかむことが出来、三つ目の児童マンガの雑誌として発行することが出来たのだと思います。

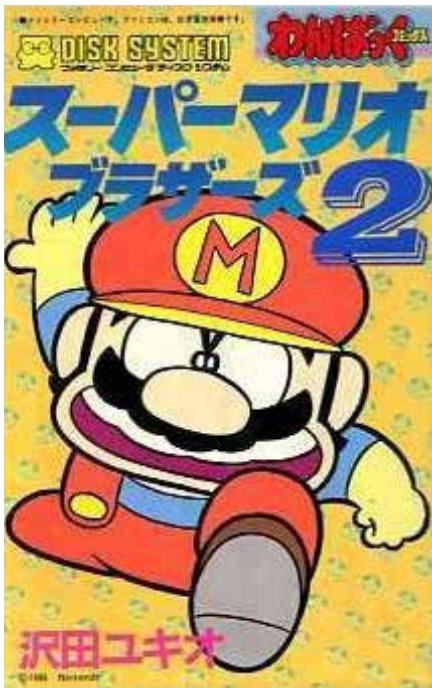
**たくさんの方のマンガ家さんに
助けていただきました。**

みなづき由宇さん、やまと虹一さん、もりけんさん、たまだとしみつさん、こばやし将さん、すずおやすきさん、魚戸おさむさん、高倉マサオさん、愛沢ひろしさん、こんどう修さん、夏川まことさん、田森庸介さん、吉沢やすみさん、ぜんきよしさん、リッキー谷内さん、ふくいかんじさん、寺川枝里子さん、タジサンさん、相原和典さん、水越かりさん、高梨鉄平さん、しまざき真二さん、斎藤た

ろうさん、大野克彦さん、田村良介さん、滝川健市さん、白石まさあきさん、青木みわさん、こんどう修さん、山口正人さん、熊倉いさおさん、ななつめなつめさん、河島北京さん、山室正樹さん、森正さん、(順不同)。

お名前だけでもと書き始めましたが、まだまだお世話になった方は尽きません。

本当にありがとうございました。



「スーパーマリオブラザーズ2」 沢田ユキオ・著（徳間書店発行）